

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

県立羽生第一高等学校 事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

1 実践テーマ	【I、Ⅲ、V】
2 実施対象者	第1 学年 204人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (車いすバスケットボール大会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目 標 (ねらい)	・パラアスリートと一緒にパラリンピック種目である車いすバスケットボールを体験することで、新たな一歩を踏み出すきっかけを作る。 ・人間の多様性を認め合い、人間の強さやすごさを身をもって体験する。
5 取組内容	(1)開催日 平成31年1月10日(木) 14:40～16:35 (2)講 師 シドニーパラリンピック 車いすバスケット 日本代表選手 根木 慎志 氏 (3)内 容 ①根木慎志氏の入場・紹介 ②車いすバスケットボールのルール説明、デモンストレーション ③車いすバスケットボール大会3試合を行う (男子生徒代表、女子生徒代表、教職員チーム)



	④根木慎志氏の講話  ⑤参加生徒全員で記念撮影 
6 主な成果	・パラリンピック競技である車いすバスケットボールに対する理解が深まった。 ・障害者スポーツに対する理解が深まった。 ・パラリンピアンが身近な存在となった。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	・生徒だけが車いすバスケットボールを体験するのではなく、教職員同士の試合を行い、教職員も一緒に体験した。 ・生徒が根木氏を身近な存在と感ずることができるような工夫をした。
8主な課題等	「あすチャレ school！」へ応募し、採用されれば実施のため、実施できるか不確定な部分がある。
9来年度以降 の実施予定	パラリンピック競技体験として、ボッチャ体験を実施していきたい。